

—今シーズンのノロウイルス検出状況（速報）—

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、例年 11 月頃から流行します。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、第 46 週(11 月 14 日～20 日)より警報開始基準値の 20 を超えたため、警報を発令しています。県内では、10 月中旬から集団感染事例が複数発生し、患者数が 50 名を超える大規模な事例も発生しています。当センターで検査を実施した集団感染事例のウイルス検出状況は以下の通りです。

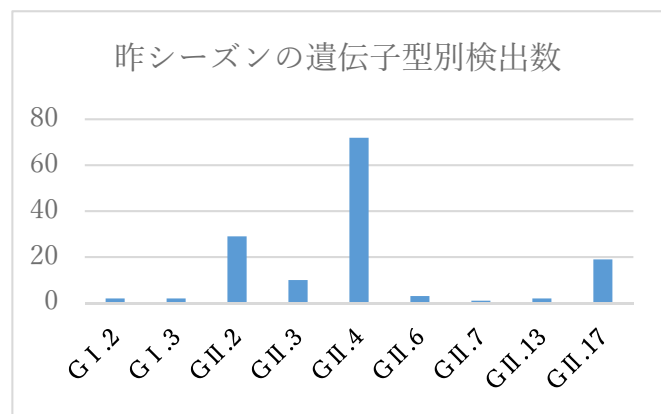
検査日	保健所	施設	患者年齢	検体数	陽性数	遺伝子型
10/19	広陵町	幼稚園	3～5 歳・職員	2	2	ノロウイルス GII. 2
10/24	橿原市	保育所	0～3 歳	3	1	サポウイルス
10/31	天理市	保育園	0～5 歳・職員	4	4	ノロウイルス GII. 2
11/1	郡山保健所管内	保育園	0～5 歳・職員	4	1	ノロウイルス GII. 2
11/10	広陵町	小学校	7～11 歳	1	1	ノロウイルス GII. 2
11/10	三宅町	幼稚園	0～5 歳	3	3	ノロウイルス GII. 2
11/14	生駒市	小学校	1～6 年生・職員	3	2	ノロウイルス GII. 2
11/15	中和保健所管内	不明	25～38 歳	3	3	ノロウイルス GII. 2
11/16	大和高田市	幼稚園	3～5 歳・職員	2	2	ノロウイルス GII. 2
11/16	郡山保健所管内	保育所	1～3 歳・職員	4	2	ノロウイルス GII. 2
11/18	郡山保健所管内	保育所	2～6 歳・職員	4	4	ノロウイルス GII. 2
11/18	郡山保健所管内	福祉施設	50～56 歳	5	5	ノロウイルス GII. 2

*ノロウイルス遺伝子型の記載のない事例は、解析中です。

検査を行った 12 事例のうち 11 事例からノロウイルス GII を検出しています。このうち遺伝子型解析を実施したすべてがノロウイルス GII. 2 とわかりました。これまでノロウイルスの主流遺伝子型は GII. 4 でしたが、今シーズン(2016 年 9 月～)は GII. 2 の検出が多い流行の立ち上がりをしています。

GI. 2 は、昨シーズン(2015 年 9 月～2016 年 8 月)GI. 4 に次いで多い検出遺伝子型でした。2015 年 12 月から 2016 年 1 月にかけて検出が増加し、そのほとんどが中和保健所管内西部地域の一医療機関より提供された検体からの検出でした。そのため昨シーズンの GII. 2 の増加は、一部地域での流行と考えられました。今シーズンは一部の地域からだけでなく、県内で GII. 2 の流行地域が拡大しています。また、全国でも GII.

2 は GII. 4 を上回る検出数となっており、増加しているようです。今後もノロウイルスの迅速な遺伝子型解析に努め、他府県の状況等も把握していかなければならないと考えています。



◆奈良県庁保健予防課 感染性胃腸炎について <http://www.pref.nara.jp/5069.htm>

◆IASR ノロウイルス等検出状況 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html>